

民 生 協 議 会 協 議 事 項

〔	日時	令和5年1月20日(金)	〕
		午前10時	
	場所	第三委員会室	

○ 所管事項の報告について

- 1 新型コロナウイルス感染症に係る公表資料の誤送信について
- 2 合葬墓の「生前予約」及び「市営霊園からの改葬」の募集について
- 3 令和4年 八戸市の火災と救急・救助について

新型コロナウイルス感染症に係る公表資料の誤送信について

1. 概要及び経緯

市内感染状況の報道発表のため行っている報道機関向け一斉メール送信において、通常公表していない新規陽性者等の個人情報を含む内部資料を誤って添付し送信したものの。

2. 発生年月日

令和5年1月8日(日) 16:30

3. 誤送信した資料の内容等

(1) 内 容 ①医療機関からの発生届出者及び調査者リスト

1月7日(土)に市内医療機関から届け出のあった新規陽性者
27名のリスト

②入院状況

ア. 八戸圏域9医療機関の入院者数

イ. 1月8日(日)時点の市内医療機関入院患者27名及び退院者
7名のリスト

③発生届・自己検査登録数の割合

④直近7日間集計の陽性者年齢構成

(2) 誤送信先 市政記者クラブ登録 13社 36件のメールアドレス

(3) そ の 他 報道機関以外の外部への送信及び漏洩等は確認されていない。

4. 誤送信に対する対応

・ 1月10日(火) 内部の点検作業により誤送信を確認

・ 1月11日(水) 市政記者クラブ登録13社に対し、電話による謝罪及び当該メールの添付ファイル削除の依頼

同日16:30 1月11日(水)の公表資料メール送信時に、当該メールの添付ファイル削除の依頼

5. 再発防止策

今回の誤送信の原因は、メール送信の際に担当者が誤ったファイルを選択し添付したこと、送信前のチェックが働かなかったことにある。

今後は、再度このような事案が発生しないよう、データ上の資料(ファイル)の保管場所や保健所内部での情報共有の方法の見直しなどを行うとともに、資料公表の際のチェック体制を厳重にし、徹底していく。

合葬墓の「生前予約」及び「市営霊園からの改葬」の募集について

1 概 要

合葬墓使用者の資格としている 3 区分のうち、現在、通年募集している「焼骨を保有している方」を除く「生前予約する方」及び「市営霊園からの改葬をする方」について、今年度、募集枠と募集期間を設けて募集する。

2 募集内容

(1) 合葬墓使用者の資格

① 「生前予約」

現に使用することができる祖先等のお墓を有せず、かつ、市営霊園内一般墓地（以下「一般墓地」という。）の使用の許可を受けていない者で、当市に引き続き 1 年以上住所を有する満 65 歳以上の者で、自己の死後にその焼骨を埋蔵する者を選任できるもの

② 「市営霊園からの改葬」

一般墓地に埋蔵している焼骨を合葬墓に改葬し、一般墓地を返還しようとする者

(2) 募集枠

① 「生前予約」 5 件

② 「市営霊園からの改葬」 5 件

3 募集期間

令和 5 年 1 月 23 日（月）から令和 5 年 2 月 10 日（金）まで

4 申込方法

- ・ 予約申込の受付は市庁本館 1 階 特設会場（※先着順ではない）
- ・ 霊園使用許可予約申込書、申込者の身分証明書が必要

5 その他

- ・ 申込多数の場合は抽選
- ・ 2 月 22 日（木）に公開抽選（市庁別館 2 階会議室 B）にて実施予定
- ・ 申込者全員に抽選結果通知
- ・ 2 月 24 日（金）から 3 月 31 日（金）に許可申請の受付

令和4年八戸市の火災と救急・救助

1 火災概況

(1) 発生状況

令和4年における火災の発生状況は、総火災件数が50件で、前年に比べ15件の減少となっている。火災種別でみると、建物火災26件(前年比17件減)、車両火災10件(同4件増)、林野火災はなく(同3件減)、その他の火災14件(同1件増)である。
火災による死者は1人(前年比6人減)、負傷者は3人(同22人減)である。り災世帯は17世帯(同27世帯減)、り災人員は41人(同52人減)、焼損棟数は36棟(同30棟減)である。

△印は減少

区 分		年 別	令和4年 (A)	令和3年 (B)	増 減 (A)－(B)
火災件数	合 計		50	65	△ 15
	建 物		26	43	△ 17
	車 両		10	6	4
	林 野			3	△ 3
	船 舶				
	航 空 機				
	そ の 他		14	13	1
死 者			1	7	△ 6
負 傷 者			3	25	△ 22
り 災	世 帯		17	44	△ 27
	人 員		41	93	△ 52
焼 損 棟 数	合 計		36	66	△ 30
	全 焼		6	19	△ 13
	半 焼		3	5	△ 2
	部 分 焼		15	24	△ 9
	ぼ や		12	18	△ 6

(2) 出火原因

出火原因別でみると、第1位が「たき火」で6件、第2位が「電灯・電話等の配線」で5件、第3位が「放火」、「たばこ」、「配線器具」、「排気管」で各4件となっている。

△印は減少

順位	年 別	令和4年 (A)	令和3年 (B)	増 減 (A)－(B)
	原 因 合 計	50	65	△ 15
1	たき火	6	5	1
2	電灯・電話等の配線	5	3	2
3	放火	4	9	△ 5
	たばこ	4	4	
	配線器具	4	3	1
	排気管	4		4
7	電気機器	3	1	2
8	ストーブ	2	5	△ 3
9	こんろ	1	2	△ 1
	灯火		2	△ 2
	マッチ・ライター		1	△ 1
	その他	17	26	△ 9
	不明		4	△ 4

※ 上表の区分に記載されていない原因は、その他に含む。

2 救急概況

令和4年における救急出動は9,956件で、前年に比べ1,027件の増加、医療機関への搬送人員は9,350人で1,067人の増加となっている。一日の平均出動件数は27.3件、52.8分に1件の割合で出動したことになる。

事故種別の出動件数で最も多いのは、急病の7,342件(前年比1,063件増)で、次いで一般負傷1,156件(同99件増)、転院搬送721件(同47件減)、交通事故383件(同44件減)となっている。

覚知から現場到着までに要した平均時間は10.8分、覚知から医療機関収容までに要した平均時間は42.7分である。

△印は減少

区 分 種 別		出 動 件 数			搬 送 人 員		
		令和4年 (A)	令和3年 (B)	増 減 (A)－(B)	令和4年 (a)	令和3年 (b)	増 減 (a)－(b)
合 計		9,956	8,929	1,027	9,350	8,283	1,067
急 病		7,342	6,279	1,063	6,896	5,810	1,086
一般負傷		1,156	1,057	99	1,094	1,001	93
交通事故		383	427	△ 44	387	424	△ 37
自損行為		103	107	△ 4	79	78	1
労働災害		88	80	8	89	80	9
運動競技		55	63	△ 8	55	70	△ 15
火 災		37	61	△ 24	3	25	△ 22
加 害		27	35	△ 8	22	28	△ 6
水難事故		6	12	△ 6	2	1	1
自然災害			1	△ 1		1	△ 1
そ の 他	転院搬送	721	768	△ 47	722	764	△ 42
	医師搬送	19	15	4			
	資器材等輸送						
	その他	19	24	△ 5	1	1	

(注)事故種別中「その他のその他」には、誤報・虚偽等を含む。

3 救助概況

令和4年における救助出動は32件で前年に比べ13件減少、救助人員は22人で前年に比べ10人の減少となっている。

事故種別でみると、交通事故が11件(前年比6件減)、水難事故が7件(同5件減)、機械による事故が2件(同同数)、建物等による事故が2件(同1件減)、火災が1件(同5件減)、自然災害が1件(同1件増)、その他の事故が8件(同3件増)となっている。

事故種別毎の救助人員は、交通事故が8人、水難事故が4人、機械による事故が1人、建物等による事故が2人、その他の事故が7人となっている。

△印は減少

区 分 種 別		出 動 件 数			救 助 人 員		
		令和4年 (A)	令和3年 (B)	増 減 (A)－(B)	令和4年 (a)	令和3年 (b)	増 減 (a)－(b)
合 計		32	45	△ 13	22	32	△ 10
交通事故		11	17	△ 6	8	17	△ 9
水難事故		7	12	△ 5	4	9	△ 5
機械による事故		2	2		1	1	
建物等による事故		2	3	△ 1	2	3	△ 1
火 災		1	6	△ 5			
自然災害		1		1			
ガス及び酸欠事故							
その他の事故		8	5	3	7	2	5